

インターネットの世界で身を守るために

学校での学習や、友達と関わりなど、インターネットの世界にふれることも増えてきます。ネットの社会は便利さを与えてくれるとともに、ときに大きな危険と出会う可能性も秘めています。「低学年だからまだ大丈夫」ではなく、「低学年だからこそ気を付ける」という気持ちでいきましょう。

動画視聴やゲームに潜む危険

動画サイトの閲覧やオンラインゲームをする際にルールを決めていますか？

便利である一方、

「知らない人と連絡が取れてしまう」
「自分の個人情報を発信してしまう」
「誹謗中傷をうける」

といった危険もあります。

『できる時間』『使える時間帯』
『チャット機能の使用の可否』など
トラブルの未然防止を！



子どもの写真や動画の投稿、本当に大丈夫？

わが子のかわいい姿は写真や動画に残したいもの。見てもらいたいと思っても、安全のための注意は不可欠です！

インターネット上のメディアは不特定多数が閲覧できます。顔がわからないよう加工するなど工夫が必要です。

SNSに投稿した画像がわいせつ目的などの望まない形で知らない人に悪用されるケースもあります！

SNS、気軽に使いすぎていませんか？

多くの人が利用し、手軽に誰とでもつながることのできるSNS。しかし、一歩間違えると落とし穴が…！

写真から位置情報や学校名など
個人情報が特定される

メッセージアプリ内での悪口・いじめ

友達に送った自撮り写真の
同意のない拡散



トラブルの未然防止のため、子どもの利用実態の把握に努めましょう！

大人のスマホ触らせていませんか？

フィルタリングなど安全設定がされていない親のスマホを子どもが触る場面はありませんか？

「いつのまにかポイントで買い物している」
「ゲームに課金している」
「SNSに勝手に投稿している」

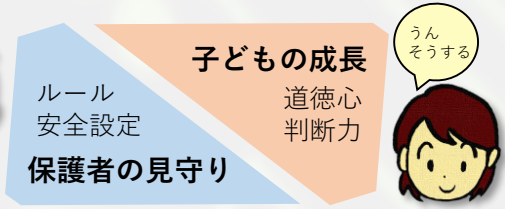
“画面が見えるところで操作させる” “触らせない” などトラブルが起きる前に、ルールづくりを！

大切なのは、子どもの成長に合わせたルールづくり

「ペアレンタルコントロール」から「セルフコントロール」へ

発達段階に合わせて、フィルタリングを含むペアレンタルコントロール機能を上手に活用して、子どもたちを守りましょう。

※「ペアレンタルコントロール」とは、フィルタリングの利用や親子のルール作りによって、子どものインターネット利用を保護者が適切に管理することです。



ルールをつくる・見直すタイミングは？

スマートフォンやゲーム機を買うとき、進学・進級等のライフイベントのとき、また夏休みや冬休みなどの長期休みに入るときなども見直すチャンスです。



SNSやLINEなどのメッセージアプリでトラブルが起きたときは、「スクリーンショット（画面保存）」を忘れずに！
トラブルにあった場合は警察をはじめとした専門機関へ早く相談することが被害拡大防止につながります。
困ったら家族へ話すことも教えておきましょう。

「子どもとネットのトリセツ」
安心ネットづくり促進協議会

